

(品川地区学部生向け)

2025 年度 時間割 補足資料

1. 代替科目表
2. 教員グループ一覧表
3. 教室一覧
4. 2025 年度時間割等注意事項

2025 年 3 月

教務課教務係

k-kyomu1@o.kaiyodai.ac.jp

代替科目表

●代替科目について

- ・学生は入学時のカリキュラム（入学年度の履修ガイド参照）に基づいて卒業まで履修を進めますが、在学中に一部の科目が廃止や名称変更などにより開講されなくなることがあります。
- ・代替科目とは、開講されなくなった科目の代わりに履修できる科目です。
- ・代替科目を履修し、合格すると、旧科目の単位として読み替えられます。
- ・代替科目が設定されていない場合は、表に「なし」と記載され、その場合の相談先の教員等が併記されています。
- ・代替科目表は、科目区分や入学年度ごとに分けて記載されています。自身の対象科目を確認してください。
- ・表の左側には、入学時の旧科目が、右側には当該年度に開講する科目の中で、対応する代替科目の有無が示されています。

対象となる
入学年度です

●記載例

この代替科目の表は、平成29（2017）～令和5（2023）年度入学者に適用されます。

◆総合科目				◆総合科目				
科目区分	授業科目（旧）	単位数	年次	科目区分	代替科目	単位数	年次	備考
〇〇系	科目A	2	1	〇〇系	科目B	2		
〇〇系	科目X	2	2	なし【〇〇系グループ世話人に相談すること】				
〇〇系	生物学	2	1	〇〇系	生物学Ⅰ	1	1	「生物学Ⅰ」と「生物学Ⅱ」のセットで代替科目とする。
					生物学Ⅱ	1	1	

【例：記載例の読み方】

(1) 対象者：2017～2023年度入学者

(2) 科目区分：「総合科目」

(3) 廃止された各科目の扱い：

・「科目A」

→「科目B」が代替科目となり、「科目B」の単位を修得することで、成績公開時に旧「科目A」の成績として読み替えられる。

・「科目X」

→代替科目なし。相談先の教員名が書かれているため、必要に応じて記載の教員に相談すること。

・「生物学」

→「生物学Ⅰ」「生物学Ⅱ」（各1単位）がセットで代替科目となり、両方の成績を修得することで成績公開時に旧「生物学」の単位として読み替えられる。

（両方の単位が揃うまで旧「生物学」への読替はされないため、注意が必要。）

代替科目が無い場合は、「なし」と記載されています。相談先の教員が記載されている場合は、必要に応じて相談してください。

セットで代替科目と指定されている科目は、両方の単位を修得して初めて旧科目の単位として読替えられます。

●注意事項

近年は代替科目が増えており、代替科目表や対象科目は毎年更新されます。

2年次以上の学生は、毎年必ず、代替科目表の各科目区分について、自身の入学年度の箇所を確認してください。

この代替科目の表は、平成29（2017）～令和2（2020）年度入学者に適用されます。

◆総合科目

科目区分	授業科目（旧）	単位数	年次	科目区分	代替科目	単位数	年次	備考
外国語系	Intensive English I（旧）	1	3	なし	【外国語系グループ世話人に相談すること】			
外国語系	Intensive English II（旧）	1	3	なし	【外国語系グループ世話人に相談すること】			
外国語系	Intensive English III	1	3	外国語系	Intensive English I（新）	1	3	
外国語系	Intensive English IV	1	3	外国語系	Intensive English II（新）	1	3	

この代替科目の表は、平成29（2017）～令和3（2021）年度入学者に適用されます。

◆総合科目

科目区分	授業科目（旧）	単位数	年次	科目区分	代替科目	単位数	年次	備考
文化学系	現代ヨーロッパ論	2	1	なし	【文化学系グループ世話人に相談すること】			

この代替科目の表は、平成29（2017）～令和4（2022）年度入学者に適用されます。

◆総合科目

科目区分	授業科目（旧）	単位数	年次	科目区分	代替科目	単位数	年次	備考
哲学・科学論系	哲学史	2	2	なし	【哲学・科学論系グループ世話人に相談すること】			

この代替科目の表は、平成29（2017）～令和5（2023）年度入学者に適用されます。

◆総合科目

科目区分	授業科目（旧）	単位数	年次	科目区分	代替科目	単位数	年次	備考
共通導入科目	海洋生命科学概論	1	1	なし	【特別開講（開講日程等については掲示する）】			
共通導入科目	海洋工学概論	1	1	なし	【特別開講（開講日程等については掲示する）】			
共通導入科目	海洋資源環境学概論	1	1	なし	【特別開講（開講日程等については掲示する）】			
共通導入科目	情報リテラシー	2	1	なし	【情報科学系グループ世話人に相談すること】			
文化学系	文学	2	1	文化学系	日本文学	2		
文化学系	人文地理学	2	1	なし	【文化学系グループ世話人に相談すること】			
文化学系	ヨーロッパ文化論	2	1	なし	【文化学系グループ世話人に相談すること】			
文化学系	英米社会文化入門	2	2	なし	【文化学系グループ世話人に相談すること】			
文化学系	英米表象文化入門	2	2	なし	【文化学系グループ世話人に相談すること】			
哲学・科学論系	技術史	2	2	専門導入科目	技術史	2	1	代替科目「技術史」の科目区分は専門導入科目となる。
社会科学系	国際法	2	1	なし	【社会科学系グループ世話人に相談すること】			
外国語系	Effective English I	1	2	なし	【外国語系グループ世話人に相談すること】			
外国語系	Effective English II	1	2	なし	【外国語系グループ世話人に相談すること】			
外国語系	ドイツ語 I	1	1	なし	【外国語系グループ世話人に相談すること】			
外国語系	ドイツ語 II	1	1	なし	【外国語系グループ世話人に相談すること】			
外国語系	ドイツ語 III	1	2	なし	【外国語系グループ世話人に相談すること】			
外国語系	ドイツ語 IV	1	2	なし	【外国語系グループ世話人に相談すること】			
外国語系	フランス語 I	1	1	なし	【外国語系グループ世話人に相談すること】			
外国語系	フランス語 II	1	1	なし	【外国語系グループ世話人に相談すること】			
外国語系	フランス語 III	1	2	なし	【外国語系グループ世話人に相談すること】			
外国語系	フランス語 IV	1	2	なし	【外国語系グループ世話人に相談すること】			
外国語系	ロシア語 I	1	1	なし	【外国語系グループ世話人に相談すること】			
外国語系	ロシア語 II	1	1	なし	【外国語系グループ世話人に相談すること】			
外国語系	ロシア語 III	1	2	なし	【外国語系グループ世話人に相談すること】			
外国語系	ロシア語 IV	1	2	なし	【外国語系グループ世話人に相談すること】			
外国語系	中国語 I	1	1	なし	【外国語系グループ世話人に相談すること】			
外国語系	中国語 II	1	1	なし	【外国語系グループ世話人に相談すること】			
外国語系	中国語 III	1	2	なし	【外国語系グループ世話人に相談すること】			
外国語系	中国語 IV	1	2	なし	【外国語系グループ世話人に相談すること】			
外国語系	スペイン語 I	1	1	なし	【外国語系グループ世話人に相談すること】			
外国語系	スペイン語 II	1	1	なし	【外国語系グループ世話人に相談すること】			
外国語系	スペイン語 III	1	2	なし	【外国語系グループ世話人に相談すること】			
外国語系	スペイン語 IV	1	2	なし	【外国語系グループ世話人に相談すること】			
外国語系	韓国語 I	2	1	なし	【外国語系グループ世話人に相談すること】			
外国語系	韓国語 II	2	1	なし	【外国語系グループ世話人に相談すること】			

この代替科目の表は、平成29（2017）、30（2018）年度入学者に適用されます。

◆教職科目

科目区分	授業科目（旧）	単位数	年次	科目区分	代替科目	単位数	年次	備考
教職科目	教育心理学	2	2	なし	【佐々木教員に相談すること】			
教職科目	教育課程及び特別活動論	2	3	なし	【佐々木教員に相談すること】			

この代替科目の表は、平成29（2017）～令和3（2021）年度入学者に適用されます。

◆教職科目

科目区分	授業科目（旧）	単位数	年次	科目区分	代替科目	単位数	年次	備考
教職科目	教育方法学	2	2	教職科目	教育方法学（ICT活用含む）	2	2	

この代替科目の表は、平成29（2017）～令和5（2023）年度入学者に適用されます。

○海洋生命科学部授業科目

◆基礎科目

科目区分	授業科目（旧）	単位数	年次	科目区分	代替科目	単位数	年次	備考
基礎科目	基礎微積分Ⅰ	2	1	専門導入科目	基礎微積分Ⅰ	2	1	
基礎科目	基礎微積分Ⅱ	2	1	専門導入科目	基礎微積分Ⅱ	2	1	
基礎科目	数理解析	2	1	専門導入科目	数理解析	2	1	
基礎科目	線形代数	2	1	専門導入科目	線形代数	2	1	
基礎科目	水産海洋概論Ⅰ	2	1	なし	【特別開講（開講日程等については掲示する）】			
基礎科目	水産海洋概論Ⅱ	2	1	なし	【特別開講（開講日程等については掲示する）】			
基礎科目	統計学	2	2	専門導入科目	統計学	2	2	
基礎科目	情報処理概論	2	2	専門導入科目	情報処理概論	2	2	
基礎科目	物理学	2	1	専門導入科目	物理学Ⅰ	1	1	「物理学Ⅰ」と「物理学Ⅱ」のセットで代替科目とする。
				専門導入科目	物理学Ⅱ	1	1	
基礎科目	物理学実験	1	4（食品2）	専門導入科目	物理学実験	1	4（食品2）	
基礎科目	化学	2	1	専門導入科目	化学Ⅰ	1	1	「化学Ⅰ」と「化学Ⅱ」のセットで代替科目とする。
				専門導入科目	化学Ⅱ	1	1	
基礎科目	生物学	2	1	専門導入科目	生物学Ⅰ	1	1	「生物学Ⅰ」と「生物学Ⅱ」のセットで代替科目とする。
				専門導入科目	生物学Ⅱ	1	1	
基礎科目	地学	2	4	専門導入科目	地学Ⅰ	1	1	「地学Ⅰ」と「地学Ⅱ」のセットで代替科目とする。
				専門導入科目	地学Ⅱ	1	1	
基礎科目	地学実験	1	4	専門導入科目	地学実験	1	2	
基礎科目	陸水学	2	2	専門導入科目	陸水学	2	2	
基礎科目	データサイエンス入門A	1	1	総合科目	データサイエンス入門A	1	1	代替科目「データサイエンス入門A」の科目区分は総合科目となる。
基礎科目	データサイエンス入門B	1	1	総合科目	データサイエンス入門B	1	1	
基礎科目	TOEIC入門	1	1	専門導入科目	TOEIC入門	1	1	グローバル・キャリア関連科目
基礎科目	TOEIC演習	1	3	専門導入科目	TOEIC演習	1	3	
基礎科目	グローバルキャリア入門	2	1	専門導入科目	グローバルキャリア入門	2	1	
基礎科目	海外派遣キャリア演習Ⅰ	2	3	専門導入科目	海外派遣キャリア演習Ⅰ	2	3	
基礎科目	海外派遣キャリア演習Ⅱ	2	4	専門導入科目	海外派遣キャリア演習Ⅱ	2	4	
基礎科目	キャリア形成論Ⅰ	1	1	専門導入科目	キャリア形成論Ⅰ	1	1	
基礎科目	キャリア形成論Ⅱ	1	3	専門導入科目	キャリア形成論Ⅱ	1	3	

○海洋資源環境学部授業科目

◆基礎科目

科目区分	授業科目（旧）	単位数	年次	科目区分	代替科目	単位数	年次	備考
基礎科目	基礎微積分Ⅰ	2	1	専門導入科目	基礎微積分Ⅰ	2	1	
基礎科目	基礎微積分Ⅱ	2	1	専門導入科目	基礎微積分Ⅱ	2	1	
基礎科目	物理学	2	1	専門導入科目	物理学Ⅰ	1	1	「物理学Ⅰ」と「物理学Ⅱ」のセットで代替科目とする。
				専門導入科目	物理学Ⅱ	1	1	
基礎科目	化学	2	1	専門導入科目	化学Ⅰ	1	1	「化学Ⅰ」と「化学Ⅱ」のセットで代替科目とする。
				専門導入科目	化学Ⅱ	1	1	
基礎科目	生物学	2	1	専門導入科目	生物学Ⅰ	1	1	「生物学Ⅰ」と「生物学Ⅱ」のセットで代替科目とする。
				専門導入科目	生物学Ⅱ	1	1	
基礎科目	地学	2	1	専門導入科目	地学Ⅰ	1	1	「地学Ⅰ」と「地学Ⅱ」のセットで代替科目とする。
				専門導入科目	地学Ⅱ	1	1	
基礎科目	数理解析	2	1	専門導入科目	数理解析	2	1	
基礎科目	線形代数	2	1	専門導入科目	線形代数	2	1	
基礎科目	数理科学	2	2	専門導入科目	数理科学	2	2	
基礎科目	物理数学	2	2	専門導入科目	物理数学	2	2	
基礎科目	統計学	2	2	専門導入科目	統計学	2	2	
基礎科目	情報処理論	2	2	専門導入科目	情報処理論	2	2	
基礎科目	物理学実験	1	2	専門導入科目	物理学実験	1	2	
基礎科目	化学実験	1	2	専門導入科目	化学実験	1	2	
基礎科目	生物学実験	1	2	専門導入科目	生物学実験	1	2	
基礎科目	地学実験	1	2	専門導入科目	地学実験	1	2	
基礎科目	データサイエンス入門A	1	1	総合科目	データサイエンス入門A	1	1	代替科目「データサイエンス入門A」の科目区分は総合科目となる。
基礎科目	データサイエンス入門B	1	1	総合科目	データサイエンス入門B	1	1	

基礎科目	TOEIC入門	1	1	専門導入科目	TOEIC入門	1	1	グローバル・キャリア関連科目
基礎科目	TOEIC演習	1	3	専門導入科目	TOEIC演習	1	3	
基礎科目	グローバルキャリア入門	2	1	専門導入科目	グローバルキャリア入門	2	1	
基礎科目	海外派遣キャリア演習Ⅰ	2	3	専門導入科目	海外派遣キャリア演習Ⅰ	2	3	
基礎科目	海外派遣キャリア演習Ⅱ	2	4	専門導入科目	海外派遣キャリア演習Ⅱ	2	4	
基礎科目	キャリア形成論Ⅰ	1	1	専門導入科目	キャリア形成論Ⅰ	1	1	
基礎科目	キャリア形成論Ⅱ	1	3	専門導入科目	キャリア形成論Ⅱ	1	3	

◆教職科目

科目区分	授業科目（旧）	単位数	年次	科目区分	代替科目	単位数	年次	備考
教職科目	水産科教育法Ⅱ	2	3	教職科目	水産科教育法Ⅱ	1	3	「水産科教育法Ⅱ」と「水産科教育法Ⅲ」のセットで代替科目とする。
					水産科教育法Ⅲ	1	3	
教職科目	理科教育法Ⅰ	2	2	教職科目	理科教育法Ⅰ	1	2	「理科教育法Ⅰ」と「理科教育法Ⅱ」のセットで代替科目とする。
					理科教育法Ⅱ	1	2	
教職科目	理科教育法Ⅱ	2	2	教職科目	理科教育法Ⅲ	1	2	「理科教育法Ⅲ」と「理科教育法Ⅳ」のセットで代替科目とする。
					理科教育法Ⅳ	1	2	
教職科目	理科教育法Ⅲ	2	3	教職科目	理科教育法Ⅴ	2	3	
教職科目	理科教育法Ⅳ	2	3	教職科目	理科教育法Ⅵ	2	3	

◆学芸員科目

科目区分	授業科目（旧）	単位数	年次	科目区分	代替科目	単位数	年次	備考
学芸員科目	博物館学Ⅴ	2	3	学芸員科目	博物館学Ⅴ	1	3	「博物館学Ⅴ」と「博物館学Ⅵ」のセットで代替科目とする。
					博物館学Ⅵ	1	3	
学芸員科目	博物館教育論	2	2	学芸員科目	博物館教育論Ⅰ	1	2	「博物館教育論Ⅰ」と「博物館教育論Ⅱ」のセットで代替科目とする。
					博物館教育論Ⅱ	1	2	

この代替科目の表は、平成29（2017）～令和2（2020）年度入学者に適用されます。

◆専門科目：海洋政策文化学科

科目区分	授業科目（旧）	単位数	年次	科目区分	代替科目	単位数	年次	備考
コア課程科目	漁場利用制度論	2	2	なし【若松教員に相談すること】				
アドバンスト課程科目	水産技術論	2	1	なし【松井教員に相談すること】				
アドバンスト課程科目	海洋環境法	2	2	なし【学科主任に相談すること】				
アドバンスト課程科目	漁業管理論（旧）	2	3	コア課程科目 漁業管理論（新）		2	1	

◆専門科目：海洋資源エネルギー学科

科目区分	授業科目（旧）	単位数	年次	科目区分	代替科目	単位数	年次	備考
海洋開発学科目群	海洋バイオマス資源学	2	3	海洋開発学科目群	海洋資源地球化学	2	3	
専門科目	海洋自然エネルギー	2	3	専門科目	海洋自然エネルギー学	2	3	

この代替科目の表は、平成29（2017）～令和3（2021）年度入学者に適用されます。

◆専門科目：海洋生物資源学科

科目区分	授業科目（旧）	単位数	年次	科目区分	代替科目	単位数	年次	備考
アドバンスト課程科目	比較生理学	2	2	アドバンスト課程科目	水族生理学	2	2	
アドバンスト課程科目	比較生理学実験	1	3	アドバンスト課程科目	水族生理学実験	1	3	

この代替科目の表は、平成29（2017）～令和4（2022）年度入学者に適用されます。

○海洋生命科学部授業科目

◆専門科目：海洋生物資源学科

科目区分	授業科目（旧）	単位数	年次	科目区分	代替科目	単位数	年次	備考
アドバンスト課程科目	藻類生態学	2	2	なし【二羽教員に相談すること】				
アドバンスト課程科目	保全増殖学	2	3	なし【濱崎教員に相談すること】				
アドバンスト課程科目	動物生態学実習	1	3	なし【濱崎教員に相談すること】				
アドバンスト課程科目	生物資源解析学実習	1	3	なし【北門教員に相談すること】				

◆専門科目：食品生産科学科

科目区分	授業科目（旧）	単位数	年次	科目区分	代替科目	単位数	年次	備考
アドバンスト課程科目	食品科学実務実習	1	3	なし【嶋倉教員に相談すること】				

◆専門科目：海洋政策文化学科

科目区分	授業科目（旧）	単位数	年次	科目区分	代替科目	単位数	年次	備考
アドバンスト課程科目	実践的基礎文学	2	2	なし【日台教員に相談すること】				
アドバンスト課程科目	海洋文明論	2	3	なし【小山 尚之教員に相談すること】				

○海洋資源環境学部

◆専門科目：海洋環境科学科

科目区分	授業科目（旧）	単位数	年次	科目区分	代替科目	単位数	年次	備考
基礎専門科目	生物学概論Ⅰ	2	1	基礎専門科目	生物学概論	2	1	
基礎専門科目	生物学概論Ⅱ	2	2	なし【石田教員に相談すること】				
基礎専門科目	分析化学	2	2	なし【呉教員に相談すること】				
基礎専門科目	数値モデリング演習	1	3	なし【大縄教員に相談すること】				
専門科目	海洋資源環境キャリア実習Ⅰ	1	3	なし【片野教員に相談すること】				
専門科目	海洋資源環境キャリア実習Ⅱ	1	3	専門科目	海洋資源環境キャリア実習	1	3	
専門科目	沿岸海洋学Ⅱ	2	3	なし【溝端教員に相談すること】				
専門科目	海洋学研究の最前線	2	3	なし【長井教員に相談すること】				
専門科目	海洋生物学研究の最前線	2	3	なし【鈴木 直樹教員に相談すること】				

◆専門科目：海洋資源エネルギー学科

科目区分	授業科目（旧）	単位数	年次	科目区分	代替科目	単位数	年次	備考
基礎専門科目	生物学概論Ⅰ	2	1	基礎専門科目	生物学概論	2	1	
基礎専門科目	生物学概論Ⅱ	2	2	なし【石田教員に相談すること】				
基礎専門科目	分析化学	2	2	なし【呉教員に相談すること】				
基礎専門科目	数値モデリング演習	1	3	なし【大縄教員に相談すること】				
専門科目	海洋資源環境キャリア実習Ⅰ	1	3	なし【片野教員に相談すること】				
専門科目	海洋資源環境キャリア実習Ⅱ	1	3	専門科目	海洋資源環境キャリア実習	1	3	
専門科目	海洋資源工学Ⅲ	2	3	なし【呉教員に相談すること】				

この代替科目の表は、平成29（2017）～令和5（2023）年度入学者に適用されます。

○海洋生命科学部授業科目

◆専門科目：海洋生物資源学科

科目区分	授業科目（旧）	単位数	年次		代替科目	単位数	年次	備考
コア課程科目	有機化学Ⅰ	2	1	コア課程科目	有機化学	2	1	
アドバンスト課程科目	有機化学Ⅱ	2	2	なし【後藤 直宏教員に相談すること】				
アドバンスト課程科目	動物組織学実験	1	2	なし【佐野教員に相談すること】				

◆専門科目：食品生産科学科

科目区分	授業科目（旧）	単位数	年次		代替科目	単位数	年次	備考
コア課程科目	有機化学Ⅰ	2	1	コア課程科目	有機化学	2	1	
アドバンスト課程科目	有機化学Ⅱ	2	2	なし【後藤 直宏教員に相談すること】				

◆専門科目：海洋政策文化学科

科目区分	授業科目（旧）	単位数	年次		代替科目	単位数	年次	備考
コア課程科目	海洋政策文化入門	2	1	コア課程科目	海洋政策文化入門Ⅰ	1	1	「海洋政策文化入門Ⅰ」と「海洋政策文化入門Ⅱ」のセットで代替科目とする。
				コア課程科目	海洋政策文化入門Ⅱ	1	1	
コア課程科目	海洋政策文化研究法	2	2	コア課程科目	海洋政策文化研究法Ⅰ	1	2	「海洋政策文化研究法Ⅰ」と「海洋政策文化研究法Ⅱ」のセットで代替科目とする。
				コア課程科目	海洋政策文化研究法Ⅱ	1	2	
コア課程科目	日本経済論	2	1	アドバンスト課程科目	日本経済論	2	1	
コア課程科目	海洋環境政策論	2	2	アドバンスト課程科目	海洋環境政策論	2	2	
コア課程科目	海洋法	2	2	コア課程科目	国際海洋法	2	2	
コア課程科目	国際文化思想論	2	2	なし【小山 尚之教員に相談すること】				
コア課程科目	多文化環境論	2	2	コア課程科目	多文化社会学	2	2	
アドバンスト課程科目	経済学演習	2	1	なし【大石教員に相談すること】				
アドバンスト課程科目	沿岸域利用論	2	3	アドバンスト課程科目	沿岸域利用管理論	2	3	
アドバンスト課程科目	スポーツ生理学	2	3	アドバンスト課程科目	応用人体生理学	2	3	
アドバンスト課程科目	海洋文化史	2	2	コア課程科目	海洋文化学	2	2	
アドバンスト課程科目	メディア文化論	2	3	アドバンスト課程科目	海洋文化表象論	2	3	
アドバンスト課程科目	環境文学	2	3	アドバンスト課程科目	環境文学Ⅰ	1	2	「環境文学Ⅰ」と「環境文学Ⅱ」のセットで代替科目とする。
				アドバンスト課程科目	環境文学Ⅱ	1	2	
アドバンスト課程科目	海洋文学	2	3	アドバンスト課程科目	海洋文学Ⅰ	1	2	「海洋文学Ⅰ」と「海洋文学Ⅱ」のセットで代替科目とする。
				アドバンスト課程科目	海洋文学Ⅱ	1	2	
アドバンスト課程科目	日本社会理解	2	3	アドバンスト課程科目	社会言語学	2	2	

○海洋資源環境学部授業科目

◆専門科目：海洋環境科学科

科目区分	授業科目（旧）	単位数	年次		代替科目	単位数	年次	備考
基礎専門科目	化学概論Ⅰ	2	1	基礎専門科目	化学概論Ⅰ	1	1	「化学概論Ⅰ」と「化学概論Ⅱ」のセットで代替科目とする。
				基礎専門科目	化学概論Ⅱ	1	1	
基礎専門科目	化学概論Ⅱ	2	2	基礎専門科目	化学概論Ⅲ	1	2	「化学概論Ⅲ」と「化学概論Ⅳ」のセットで代替科目とする。
				基礎専門科目	化学概論Ⅳ	1	2	
基礎専門科目	数値モデリング	2	3	専門科目	数値モデリング	2	3	
基礎専門科目	データサイエンス	2	2	なし【溝端教員に相談すること】				
専門科目	水産海洋概論Ⅰ	2	1	なし【特別開講（開講日程等については掲示する）】				
専門科目	水産海洋概論Ⅱ	2	1	なし【特別開講（開講日程等については掲示する）】				
専門科目	生物海洋学	2	2	基礎専門科目	基礎海洋学	2	2	
専門科目	環境情報解析学Ⅱ	2	3	基礎専門科目	応用数学	2	3	
専門科目	環境情報解析学Ⅰ	2	2	専門科目	環境情報解析学Ⅰ	1	2	「環境情報解析学Ⅰ」と「環境情報解析学Ⅱ」のセットで代替科目とする。
				専門科目	環境情報解析学Ⅱ	1	2	
専門科目	沿岸海洋学Ⅰ	2	2	専門科目	陸水・沿岸海洋学	2	2	

◆専門科目：海洋資源エネルギー学科

科目区分	授業科目（旧）	単位数	年次		代替科目	単位数	年次	備考
基礎専門科目	化学概論Ⅰ	2	1	基礎専門科目	化学概論Ⅰ	1	1	「化学概論Ⅰ」と「化学概論Ⅱ」のセットで代替科目とする。
				基礎専門科目	化学概論Ⅱ	1	1	
基礎専門科目	化学概論Ⅱ	2	2	基礎専門科目	化学概論Ⅲ	1	2	「化学概論Ⅲ」と「化学概論Ⅳ」のセットで代替科目とする。
				基礎専門科目	化学概論Ⅳ	1	2	
基礎専門科目	データサイエンス	2	2	なし【溝端教員に相談すること】				
基礎専門科目	数値モデリング	2	3	専門科目	数値モデリング	2	3	
専門科目	水産海洋概論Ⅰ	2	1	なし【特別開講（開講日程等については掲示する）】				
専門科目	水産海洋概論Ⅱ	2	1	なし【特別開講（開講日程等については掲示する）】				
専門科目	海洋資源工学Ⅰ	2	3	専門科目	海洋資源工学	2	3	

教員グループ所属別一覧表

教員グループの説明

教員グループとは、総合科目、専門導入科目、資格関係科目及び外国人留学生科目の開設の恒常的保障と科目内容の改善を目指して、これらの教育科目を支える教員集団のことを言います。

教員グループ	略 称	教員グループ	略 称	教員グループ	略 称
表 現 法	表 現	情 報 科 学	情 報	教 職	教 職
文 化 学 系	文 化	物 理 学	物 理	船 舶 職 員	海 技
哲 学 ・ 科 学 論 系	哲 学	化 学	化 学	学 芸 員	学 芸
社 会 科 学 系	社 会	生 物 学	生 物	留 学 生	留 学 生
健 康 ・ ス ポ ー ツ 系	健 康	地 学	地 学		
外 国 語 系	言 葉	数 学	数 学		
		統 計 学	統 計		

教員グループ所属別一覧表〔総合科目〕

表 現 法

学科等	氏 名
政 策	今村 圭介◎
生 物	壁谷 尚樹
生 物	川戸 智
食 品	後藤 直宏
食 品	中村 彩花
政 策	藤本 浩一
環 境	宮崎 奈穂
環 境	田中 祐希
エ ネ	戸田 勝善
エ ネ	尾張 聡子

文化学系

学 科 等	氏 名
政 策	日臺 晴子◎
政 策	大野 美砂
政 策	小暮 修三

哲学・科学論系

学 科 等	氏 名
政 策	柿原 泰◎
政 策	萩原 優騎

社会科学系

学 科 等	氏 名
政 策	大石 太郎◎
政 策	高橋 周
政 策	大河内 美香
政 策	小暮 修三
政 策	中原 尚知

健康・スポーツ系

学 科 等	氏 名
政 策	藤本 浩一◎
政 策	千足 耕一
保 健 セ	井上 泉
工 学 部	田村 祐司

外国語系

学 科 等	氏 名
政 策	大野 美砂◎
政 策	小暮 修三
政 策	日臺 晴子

◎印は教員グループの世話人を表します。

教員グループ所属別一覧表〔専門導入科目〕

情報科学系

学科等	氏 名
環 境	鈴木 直樹◎
生 物	岩田 繁英
生 物	北門 利英
生 物	塩出 大輔
生 物	宮本 隆典
生 物	横田 賢史
食 品	小川 美香子
食 品	萩原 知明
食 品	松本 隆志
食 品	ラベ イヴァン
食 品	渡邊 学
政 策	工藤 貴史
政 策	川邊 みどり
環 境	遠藤 英明
環 境	北出 裕二郎
環 境	呉 海云
環 境	土屋 光太郎
環 境	長井 健容
環 境	中島 主恵
環 境	溝端 浩平
環 境	村瀬 弘人
環 境	中村 玄
エ ネ	内田 圭一
エ ネ	竹山 優子
エ ネ	呉 連慧
エ ネ	戸田 勝善
エ ネ	宮本 佳則
エ ネ	三島 由夏

物 理 学

学科等	氏 名
食 品	萩原 知明◎
生 物	塩出 大輔
食 品	渡邊 学
環 境	荒川 久幸
環 境	北出 裕二郎
環 境	島田 浩二
環 境	長井 健容
環 境	溝端 浩平
エ ネ	井田 徹哉
エ ネ	稲津 大祐
エ ネ	岡安 章夫
エ ネ	高橋 圭太
エ ネ	戸田 勝善
エ ネ	中東 和夫

化 学

学科等	氏 名
食 品	後藤 直宏◎
生 物	壁谷 尚樹
生 物	小祝 敬一郎
生 物	近藤 秀裕
生 物	坂本 崇
生 物	寺原 猛
生 物	芳賀 穰
生 物	廣野 育生
生 物	舞田 正志
食 品	石崎 松一郎
食 品	大迫 一史
食 品	黒瀬 光一
食 品	小山 智之
食 品	小山 寛喜
食 品	嶋倉 邦嘉
食 品	高橋 希元
食 品	田中 誠也
食 品	濱田 奈保子
食 品	松川 真吾
食 品	松本 隆志
環 境	石田 真巳
環 境	岡井 公彦
環 境	神尾 道也
環 境	川合 美千代
環 境	呉 海云
環 境	高橋 美穂
環 境	永井 宏史
環 境	橋濱 史典
環 境	牧田 寛子

生 物 学

学科等	氏 名
環 境	片野 俊也◎
生 物	秋山 清二
生 物	遠藤 雅人
生 物	片桐 孝之
生 物	小林 武志
生 物	ストルスマン C. A
生 物	團 重樹
生 物	二羽 恭介
生 物	濱崎 活幸
生 物	廣野 育生
生 物	二見 邦彦
生 物	堀之内 祐介
生 物	矢澤 良輔
生 物	山本 洋嗣
生 物	吉崎 悟朗
食 品	久田 孝
食 品	小林 征洋
食 品	高橋 肇
食 品	中村 綾花
環 境	石井 晴人
環 境	石田 真巳
環 境	神尾 道也
環 境	神谷 充伸
環 境	今 孝悦
環 境	土屋 光太郎
環 境	中村 玄
環 境	宮崎 奈穂
環 境	村瀬 弘人
環 境	茂木 正人
水圏生物生産工学研究所	市田 健介
水圏生物生産工学研究所	林 誠
水圏生物生産工学研究所	森田 哲朗
水圏科学フィールド実習研究センター	松本 有記雄

地 学

学科等	氏 名	学科等	氏 名
環 境	山中 寿朗◎	エ ネ	中東 和夫
環 境	北出 裕二郎	エ ネ	古山 精史朗
環 境	島田 浩二	エ ネ	野村 瞬
環 境	テコフ ヲェリン	エ ネ	淵田 茂司
環 境	豊福 高志		
環 境	長井 健容		
環 境	牧田 寛子		
環 境	溝端 浩平		
エ ネ	尾張 聡子		
エ ネ	竹山 優子		
エ ネ	鶴我 佳代子		

数 学

学科等	氏 名
環 境	中島 主恵◎
環 境	森 直文○
生 物	北門 利英
生 物	横田 賢史
食 品	福岡 美香
政 策	大石 太郎
政 策	佐々木 剛
環 境	大縄 将史
環 境	高橋 美穂
エ ネ	上野 公彦
エ ネ	戸田 勝善

統 計 学

学科等	氏 名
生 物	北門 利英◎
生 物	岩田 繁英
食 品	柴田 真理朗
政 策	大石 太郎
政 策	松井 隆宏
政 策	若松 美保子
環 境	鈴木 直樹

◎印は、教員グループの世話人、○印は、副世話人を表します。
 ※専門導入科目「技術史」は哲学・科学論系の教員グループに属します。

教員グループ所属別一覧表 〔資格関係〕

教 職

学 科 等	氏 名
政 策	佐々木 剛◎
政 策	畠山 大○

船舶職員

学 科 等	氏 名
エ ネ	内田 圭一◎
環 境	北出 裕二郎
環 境	長井 健容
環 境	根本 雅生
政 策	小暮 修三
政 策	大河内 美香
エ ネ	甘糟 和男
エ ネ	井田 徹哉
エ ネ	上野 公彦
エ ネ	竹山 優子
エ ネ	戸田 勝善
エ ネ	野田 明
エ ネ	宮本 佳則
船 舶 セ	會川 鉄太郎
船 舶 セ	岡 真也
船 舶 セ	熊谷 和哉
船 舶 セ	坂口 雅之
船 舶 セ	勝見 健
船 舶 セ	上嶋 紘生
船 舶 セ	鶴澤 千絵子
船 舶 セ	萩田 隆一
船 舶 セ	濱田 浩明
船 舶 セ	林 敏史
船 舶 セ	藤原 寿人
船 舶 セ	宮崎 唯史
保 健 セ	井上 泉

学 芸 員

学 科 等	氏 名
環 境	土屋 光太郎◎
生 物	横田 賢史
環 境	片野 俊也
環 境	神谷 充伸
環 境	今 孝悦
環 境	鈴木 直樹
環 境	鈴木 秀和
環 境	中村 玄
環 境	宮崎 奈穂
環 境	村瀬 弘人
環 境	茂木 正人

◎印は、教員グループの世話人、○印は、副世話人を表します。

教員グループ所属別一覧表 〔外国人留学生関係〕

留 学 生

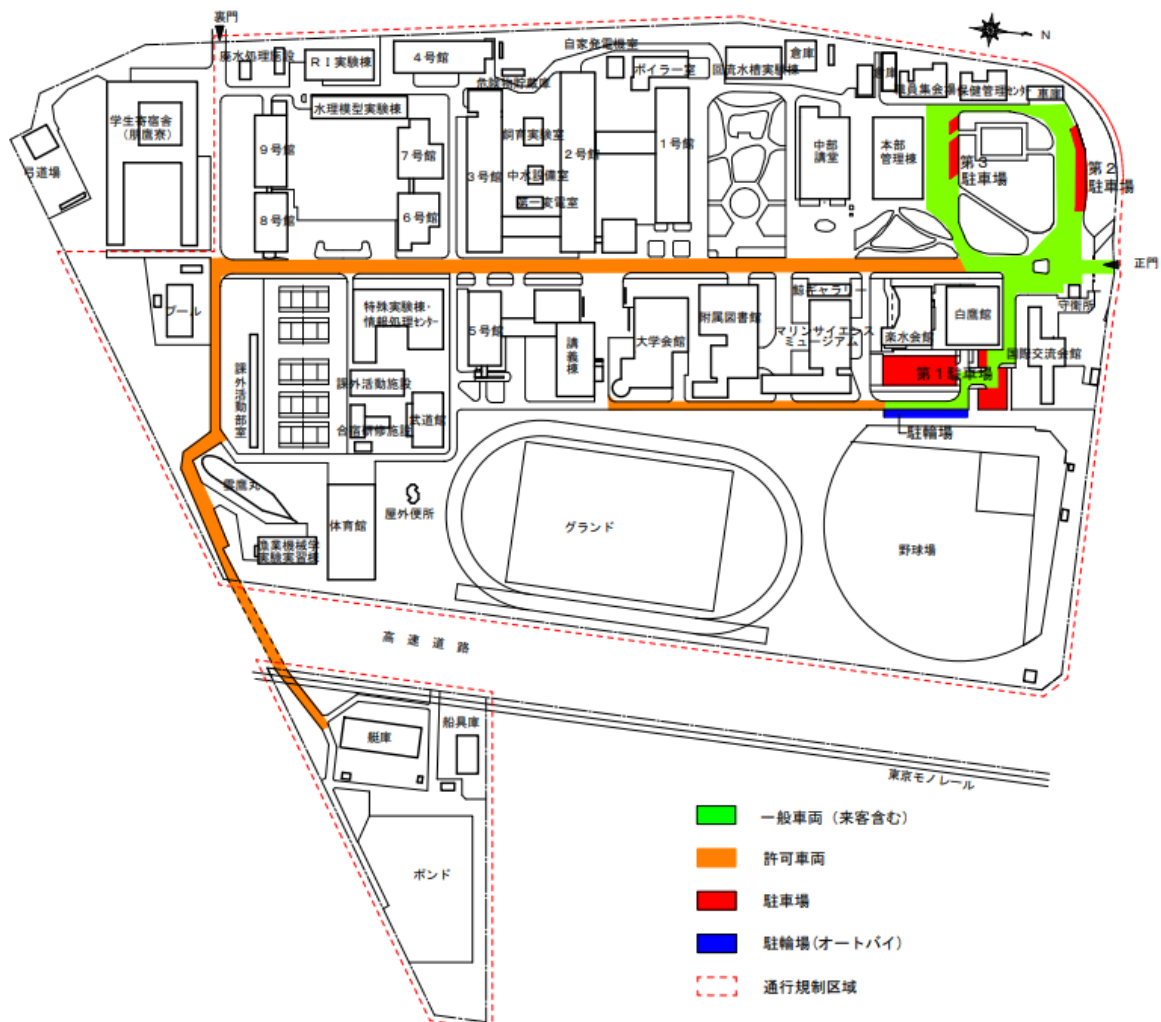
学 科 等	氏 名
エ ネ	中東 和夫◎
生 物	塩出 大輔○
生 物	岩田 繁英
生 物	佐野 元彦
食 品	大迫 一史
食 品	高橋 希元
食 品	耿 婕婷
食 品	ラベ イヴアン
政 策	今村 圭介
政 策	原田 幸子
環 境	神尾 道也
環 境	呉 海云
エ ネ	内田 圭一
エ ネ	呉 連慧

◎印は、教員グループの世話人、○印は、副世話人を表します。

教室一覽

教室略称	教室名称	教室略称	教室名称
(白)-講義室	白鷹館講義室	(講)-4 2	講義棟4 2番講義室
大講義室	講義棟大講義室	(講)-4 3	講義棟4 3番講義室
(講)-2 1	講義棟2 1番講義室	(講)-4 4	講義棟4 4番講義室
(講)-2 2	講義棟2 2番講義室	(講)-4 5	講義棟4 5番講義室
(講)-3 1	講義棟3 1番講義室	(1)-1 4	1号館1 4番講義室
(講)-3 2	講義棟3 2番講義室	(2)-1 0 0 A	2号館1 0 0 A講義室
(講)-3 3	講義棟3 3番講義室	(2)-1 0 0 B	2号館1 0 0 B講義室
(講)-3 4	講義棟3 4番講義室	(5)-3 1 5	5号館3 1 5番講義室
(講)-3 5	講義棟3 5番講義室	(5)-4 1 0	5号館4 1 0番講義室
(講)-4 1	講義棟4 1番講義室	(5)-L.L教室	5号館L.L教室(210番教室)

品川キャンパス建物配置図



通行規制区域図

(品川キャンパス)

2025 年度 時間割等注意事項

【目次】

- I 授業科目の履修登録について
- II 時間割表の注意事項
- III 【参考】2025 年度シラバスの注意事項 **※シラバス参照前に一読してください！**
- IV 【参考】新入生向け（履修ガイドの見方・時間割表の見方）

I 授業科目の履修登録について

前学期（1 学期・2 学期）及び後学期（3 学期・4 学期）で履修しようとする授業科目（一部の集中授業・実習等を除く）を、所定の期間内に登録（以下「履修登録」という。）しなければなりません。履修登録せずに受講した場合、その科目は成績評価の対象になりません。

1. 履修登録方法について

- (1) 履修登録期間
(教務システムによる Web 履修登録)

履修を希望する科目を、Live Campus の教務システムにログインして登録してください。
学外の端末からも履修登録可能です。
〈教務システムユーザーマニュアルの頁を参照のこと〉
- (2) 履修登録修正期間
(教務係に申請)

履修登録の内容を修正（追加・削除）する場合は、必ず、履修登録修正期間中に教務係に所定の方法（別途通知）で申請してください。
※この期間は教務システムから自身で修正はできません。
※この期間を過ぎると修正は一切できません。
教務システムの時間割関連＞個人時間割表画面から「履修登録確認表」を印刷し、最終確認を行ってください。
- (3) Web 履修登録「除外」科目
(個別に申請が必要)

Web 履修登録「除外」となり、上記（1）（2）に記載の履修登録方法・期間の対象外となる科目があります。該当科目の履修には、別途所定の申請手続きが必要です。対象科目や申請方法等詳細は、個別案内を参照してください。
※抽選履修登録、「他学部」科目アンケートなど、受付〆切が履修登録期間より早いものもあるため注意してください。

2. 履修登録期間について

	前学期 (1 学期・2 学期)	後学期 (3 学期・4 学期)
(1) 履修登録期間 (教務システムによる Web 履修登録)	4 月 8 日 (火) ～ 4 月 18 日 (金) ※前学期、1 学期・2 学期、通年科目 (「学期切替」ボタンで後学期科目の登録も可能です。)	10 月 1 日 (水) ～ 10 月 10 日 (金) ※後学期、3 学期、4 学期科目 (通年科目は登録できません。)
(2) 履修登録修正期間 (教務係に申請)	4 月 21 日 (月) ～ 4 月 22 日 (火) ※同上	10 月 14 日 (火) ～ 10 月 15 日 (水) ※同上

3. Web 履修登録「除外」科目について

Web 履修登録「除外」となり、上記2の(1)(2)に記載の履修登録方法・期間の対象外となる科目の履修には、別途所定の申請手続きが必要です。以下はその例となりますが、具体的な科目名や申請方法等詳細は、個別案内を参照してください。

(受付〆切が上記の履修登録期間より早いものもあるため注意してください!)

①抽選履修登録科目

定員が設定され、履修者数が制限される科目は「抽選履修登録」の対象となります。

総合科目が 2024 年度から品川・越中島全学共通開講となったことに伴い、総合科目の一部を抽選履修登録の対象とし、所定の抽選履修登録申請期間を設けます。

各学期の対象科目や、その他詳細は、個別の案内を参照してください。

※前学期の抽選履修登録期間は 4 月 10 日 15:00 〆切予定です！

②一部の集中授業（・実習）科目

教員が履修者を取りまとめる科目など、一部の集中授業（・実習）科目は、学生自身による教務システムからの Web 履修登録「除外」科目となります。集中授業の時間割表に対象科目情報が記載されていますので参照してください。（「除外」科目以外は、集中授業であっても通常の履修登録期間内に履修登録が必要です。）

③「他学部」科目

④「他大学」科目

⑤一部の資格関連科目

⑥大学院科目の先行履修（4 年次） など

Live Campus「学内アンケート」
機能や、その他個別掲示・申請等
で募集します。

4. 履修登録上の注意点について

<Live Campus／教務システム関係>

(1) Live Campus／教務システム操作方法について

Live Campus の「学内共有ファイル」内にユーザーマニュアルを掲載していますので、参照の上履修登録を行ってください。

(Live Campus>トップメニュー(上部)>キャンパスライフ>学内共有ファイル)

※タイトル名：「【品川地区学部生用】学務システムマニュアル」

※ユーザーマニュアル内容は、2025 年 3 月中旬頃更新予定です。

(2) 早めの履修計画・履修登録について（授業開始前）

Live Campus で教員から履修者に配信される授業連絡等は、履修登録者のみ参照可能です。

初回授業連絡等を受信できるよう、できる限り早めに履修計画を立て、授業開始日より前までに、履修登録作業を行ってください。

※後から履修登録した科目の配信済み通知は、Live Campus 上で遡って確認可能です。

ただし、メール通知は遡ってされないため注意してください。

(3) 履修登録ミス防止について

例年、同一科目でクラス・担当教員を間違えて登録する等、履修登録ミスが目立ちます。

履修登録期間終了後は一切の修正ができませんので、所定の期間内に教務システムの時間割関連

> 個人時間割表画面から「履修登録確認表」を印刷し、必ず最終確認を行ってください。

(4) 4学期制（クォーター制）科目の登録について

教務システムの履修登録画面は、前学期または後学期の2学期制（セメスター制）表示です。

同じ曜日・時限に開講される「1学期と2学期」または「3学期と4学期」の4学期制（クォーター制）科目を登録したい場合は、1コマに両方の科目の登録が必要です。

※操作方法等詳細は、ユーザーマニュアルを参照してください。

【例】以下の4学期制科目はどのように履修登録すればよいですか？

・科目A（1学期 月曜3限）

・科目B（2学期 月曜3限）

→「前学期」の履修登録画面を開き、「月曜3限」の1コマに、科目Aと科目Bを両方登録してください。

※4学期制科目は、1学期または2学期（3学期または4学期）どちらかしか履修登録できていなかったというミスが目立ちます。両学期ともクラス間違い等もなく履修登録できているか、必ず「履修登録確認表」を印刷して最終確認を行ってください。

(5) 集中授業（・実習）の開始日について

教務システム（Live Campus）に表示される集中授業（・実習）の「開始日」「終了日」の日付は、システムの上の表示であり、実際の授業開始日等ではありません。集中授業・実習の実施日は、必ず科目ごとのガイダンスや掲示、授業連絡等で確認してください。

<全学年共通事項>

(6) 「履修登録修正期間」を過ぎたの修正不可について

「履修登録修正期間」終了後は、履修登録の修正（変更・追加・削除）は認めません。

必ず期間内に履修登録の最終確認を行ってください。

※進級要件、卒業要件、取得希望の資格関連科目について履修登録を忘れた・勘違いしていた等の場合も、期間後の修正はできません。注意して確認してください。

※例年、同一科目でクラス・担当教員を間違えて登録する等、履修登録ミスが目立ちます。履修登録作業終了後は、必ず「履修登録確認表」を出力し、登録内容に間違いがないか最終確認してください。

※別途案内のとおり、抽選履修登録科目は原則当選後の取消しは認めません。

(7) 履修登録単位数の上限について

集中授業等を除き、履修登録できる単位数には上限が設けられています。

「履修ガイド」の「学修の手引き／I. 履修関係／〔3〕履修方法及び履修手続き」等を参考に履修登録を行ってください。

※前学期不合格となった科目分、後学期に枠が増えることはありません。履修登録可能な単位数の上限となります。

(8) 必修科目の履修登録について

必修科目は卒業までに必ず修得する必要がありますが、学生自身で履修登録する必要があります！履修登録を忘れても追加はできません。進級・卒業に影響する場合がありますので注意してください（Web 履修登録「除外」科目等を除く）。

(9) 二重履修の禁止について

同曜日の同時限に開講している科目を重複して履修登録することはできません。

（通年科目や集中授業等の日程と重複している場合も履修できません。）

なお、上記のとおり、4 学期制（クォーター制）科目については、1 学期と 2 学期、3 学期と 4 学期で開講期間が重複しないため、履修登録可能です。

(10) 通年科目の履修登録期間について

通年科目は前学期履修登録期間のみ履修登録・削除が可能です。

※後学期に再度履修登録する必要はありません。

※一度履修登録した通年科目を、後学期に取り消すことはできません。

(11) 低年次履修不可科目について

1 ～ 3 年次生は原則として、上級年次の開講科目は履修することはできません。ただし、授業担当教員の承諾を得た場合には履修が可能です（低年次履修）。該当科目については、シラバスの「低年次履修の可否」欄で確認してください。

(12) 授業教室等の変更について

「時間割」や「シラバス」に記載の情報は、3 月公開の当初予定から変更する場合があります。

特に初回授業開始前は、大学 HP の更新、Live Campus「授業連絡」、学内掲示等で休講や変更連絡が来ていないか確認するようにしてください。

(13) 留学に係る奨学金等の採用について

一部の留学に係る奨学金等の採用は、GPA を基準とした採用を行っており、不必要な履修登録により「不可」等の評価がつくと、選考において不利になる場合があるので留意してください。選考基準の詳細は各担当係にご確認ください。

< 2 ～ 4 年次生向け >**(14) 代替科目履修時の注意点について（履修・成績状況への反映時期）**

新入生以外の学生は、入学時のカリキュラム（入学年度の履修ガイド参照）から、科目の廃止・名称変更等が生じています。旧科目の代替科目が開講されるかどうかは、大学 HP「時間割」と一緒に掲載されている「時間割等注意事項」の「代替科目表」にて掲載していますので、2 年次以上の学生は必ず全員よく確認してください。また、代替科目が教務システム上の履修・成績状況に反映されるタイミングが、成績報告後となることに注意してください。

具体的には、代替科目は、履修中の段階では「要件外」として表示・単位換算されます。その後、成績発表後に成績が付与されて初めて、入学時の旧科目の単位として読替・換算されます。そのため、履修登録・履修中の段階では、教務システム上の「履修登録確認表」や「単位修得状

況表」において「要件外」に換算されます。2023 年度以前の入学者は、特に代替科目が多くなっているため、進級要件・卒業要件の単位数確認時等はこちらも踏まえて確認するようにしてください。

また、教務システムの仕様上、代替科目は、集中授業等、履修上限単位数から除かれる科目の場合も、除外されません。代替科目履修のために上限単位数の登録エラーが出たと思われる学生は、所定の履修登録期間内に教務係へ申し出てください。

< 4 年次生向け >

(15) 4 年次生の方へ

4 年次生は、前学期に本年度履修する全科目を履修登録してください。

なお、後学期にも追加で履修登録する事は可能です（ただし、後学期開講科目に限る）。

※「セミナー」及び「卒業論文」は事務局で登録します。

※集中授業・実習等の Web 履修登録「除外」科目は除きます。

※後学期の抽選履修登録科目は除きます。

Ⅱ 時間割表の注意事項

1. 学期・曜日欄について

「前」は前学期、「①」は1学期、「②」は2学期、「後」は後学期、「③」は3学期、「④」は4学期、「通年」は通年開講を指します。

2. 開講入学年度欄について

授業科目欄に表示された科目を履修できる学生の入学年度を表示しています。

【例】開講入学年度 2024－：2024年度以降の入学者のみ履修可能
ただし、それより前に入学した学生も、代替科目として履修できる場合があります。
(詳細は代替科目表を参照)。

また、開講入学年度以降に入学していても、自身の入学年度カリキュラムにない科目は履修できません(詳細は入学年度の履修ガイド参照)。

なお、編入学者については、編入学した年次の在学者の入学年度によります。

3. 開講学科欄について

授業科目欄に表示された科目が開講されている学科を表示しています。

- ・海洋生命科学部：「生命」の各学科欄
- ・海洋資源環境学部：「資源」の各学科欄

「必」は必修科目、「○」は選択科目、「他」は他学部・他学科等開講科目、「◎」は水産教員養成課程の必修科目を指します。

「／」が引かれた科目は、カリキュラム上またはクラス分けによる履修不可を表します。

4. 授業時間について

各時限の授業時間は次のとおりです。

※2024年度から、1時限あたり105分となり、授業の開始・終了時間も変更となりました。

時 限	時 間
1 時限	8 : 30～10 : 15
2 時限	10 : 25～12 : 10
3 時限	13 : 00～14 : 45
4 時限	14 : 55～16 : 40
5 時限	16 : 50～18 : 35

Ⅲ 【重要】2025 年度シラバスの注意事項

教務システムについては、2025 年度は引き続き現行システムを使用することとなりました。

(2026 年度以降にシステム更改を予定しています。詳細は固まり次第ご連絡します。)

シラバスの表記について、以下のように『履修ガイド』や「時間割表」の表示と異なるものが表示される場合がありますので、
注意事項をよく読んでから利用していただくようにお願いします。

※基本的には、2024 年度シラバスと同内容の注意事項となります。

①開講学科・専攻：学部・学科・コースのうち、原則開講「学部」まで表示され、それ以降は「共通」表記となります。(ただし、同じ学部内でも履修登録不可の学科がある場合は学科単位まで表示されます。)

②授業形態：科目種別が表示されます。授業形態（講義・実習等）は「授業の計画」等から確認してください。

授業科目名	食品化学		
開講学科・専攻	海洋生命科学部 (共通) (共通)		
科目区分・専攻分野	専門科目,食品衛生コース,教職に関する科目		
対象学年	2年	クラス	10
単位区分	必,選,要件外	単位数	2
開講学期	後期	授業形態	生命科学部◆専門科目
曜日・時限	月1,水2	講義室	(講)32番,大講義室
主担当教員	倉 邦嘉		
担当教員	倉 邦嘉		
低年次履修の可否			

⑤講義室

・「講義室」の表示順序は「曜日・時限」の順とは異なる場合があります。

実際の教室は大学 HP の時間割表や授業連絡で確認してください。

【例】週2コマ開講される科目が、曜日ごとに異なる講義室を使用する場合：

<実際の講義室>

火曜1限 白鷹館講義室

水曜2限 (講) 32

<シラバス表記>

「曜日・時限」火1、水2

「講義室」(講) 32、白鷹館講義室

※曜日と教室の順序が一致しません。

・その他：未定の場合は「未定」、教室以外の場所や都度異なる場合等は「その他」と表示されます。事前に教員からの連絡を確認してください。

③対象学年：

実際に受講可能な学年等を表示し、『履修ガイド』や時間割表の対象学年と異なる場合があります。実際の対象学年は履修ガイドまたは時間割を参照してください。

※特に「低年次履修『可』」とされている科目は、高年次科目でも「1年」と表示される場合があります。

④開講学期

シラバス検索システムは、クォーター（4学期）制に対応していないため、従来どおり、セメスター制表示（前期／後期／通年）のみとなります。実際の開講学期は「時間割」表で確認してください。

なお、2025 年度からは試行的に、時間割と連動した「4 学期制表示」をシラバス内の下部に追加しています。

【例】

・科目 A（1 学期）→シラバス上は「前期」

・科目 B（3 学期）→シラバス上は「後期」と表示。

「履修ガイドの見方」

授 業 科 目		年 次 及 び 単 位 数								卒業必要 単位数	
		1 年		2 年		3 年		4 年			
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
共通 導入 科目	フレッシュマンセミナー	①集								①	
	データサイエンス入門A	①								①	
	データサイエンス入門B	①集								①	
	日本語表現法	②								②	
	計	5								5	
文 化 学 系	※芸術学	2		(2)		(2)		(2)			
	※日本文学	2		(2)							
	※ヨーロッパ思想		2								
	※文化人類学	2		(2)							
	※水中考古学		2								
	計	6	4	0							
哲 学 ・ 科 学 論 系	※哲学	2		(2)							
	※心理学	2		(2)							
	※現代倫理学		2								
	※生命・環境文化	2		(2)							
	※科学史	2		(2)							
	計	8	2	0							
社 会 科 学 系	※社会学	2		(2)							
	※日本国憲法	2		(2)							
	※経済学		2								
	※近現代史	2		(2)							
	※政治学		2		(2)		(2)		(2)	2	
	計	6	4	0	0	0	0	0	0		
ス ポ ー ツ ・ 系	※健康科学	2		(2)		(2)		(2)		2	
	スポーツⅠ	1								1	
	スポーツⅡ		1							1	
	計	3	1	0	0	0	0	0	0	4	

⇒「健康・スポーツ系」の卒業に必要な2単位を除く1単位は、「自由選択科目」へ算入。

授 業 科 目		年 次 及 び 単 位 数								卒業必要 単位数	
		1 年		2 年		3 年		4 年			計
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
	Basic English I *	①								①	
	Basic English II *		①							①	
	英語 I *	①								①	
	英語 II *		①							①	
		2	2	1							
自由選択科目											
		食品生産科学科								◇4単位	
		海洋政策文化学科								◇6単位	
卒業に必要な単位数（総合科目含む）		海洋生物資源学科								29単位	
		食品生産科学科									
		海洋政策文化学科								31単位	

前学期・後学期の2学期制（セメスター制）表示となります。
実際の開講学期は時間割表で確認してください。

英語科目など、科目によっては、定員数等によりクラス分けがある場合があります。履修登録時は、クラスコードや担当教員名、開講学期等に注意してください。

○印の数字は、必修科
※印の科目は、全学共
*印 三級海技士（航
◇印の単位は、総合科

1年生前期の開講科目は、1年生前期に全て履修することはできません。
必要科目や履修したい科目を選び、履修計画を立てましょう。
また、成績発表や時間割開講状況等により、履修計画は適宜見直し、最終的に進級要件・卒業要件を満たすよう計画的に履修してください。

合、抽選により履修者を決定する場合がある。
2科目以上、修得しなければならない。

履修ガイド「Ⅰ. 履修関係」＞「[9]卒業及び進級」の各科目区分ごとのページには、「年次及び単位数」欄や「卒業必要単位数」が掲載されています。

どの科目が何単位で、いつ履修できるのか、卒業までには各区分を何単位修得する必要があるのか等、必ず確認してください。

【例】総合科目では、1年生の前学期に赤枠の科目が開講されています。

※開講学期は、事情により変更される場合があります。その場合は、時間割の備考欄に記載します。

<二重履修の禁止について>

時間割上、同曜日の同時限に開講している科目を重複して履修することはできません。

(通年科目や集中授業等の日程と重複している場合も履修できません。)

<「自由選択科目」について>

- ・総合科目では、各区分の余った単位数を「自由選択科目」として算入できます。
- ・「自由選択科目」の必要単位数を超えた場合は、卒業に必要な単位には換算されません！
 ※「自由選択科目」の単位数が必要なことを忘れる学生も多いため、十分注意してください。

<水産教員養成課程の学生について>

- ・「水産教員養成課程」の学生は、一般学生と卒業・進級要件が異なりますので、必ず黄色背景のページを確認してください。
- ・「水産教員養成課程」には「自由選択科目」がありません。そのため、各区分の「卒業必要単位数」を超えて修得した単位は、卒業に必要な単位としては使用できませんので、ご注意ください。

【例】水産教員養成課程の学生は、「健康・スポーツ系」は、必修科目の「スポーツⅠ、Ⅱ」のみの履修で卒業必要単位数の2単位を満たす形となります。

<外国人留学生について>

- ・外国人留学生は、一部一般学生と卒業・進級要件が異なります。「外国人留学生の授業科目履修上の特例」ページを確認してください。

※学期曜日の「前」は前学期を、「①」は1学期を、「②」は2学期を表す。